

明治期日欧言語交流史の一研究

——『英和字彙』2版における訳語収載状況をめぐって——

坂 本 浩 一

はじめに

明治期には現代日本語語彙の柱となっている漢語群が大きく躍進した。翻訳世界を中心に、いわゆる新漢語と呼ばれる新たな語形や既存の漢語における新たな用法が生み出され、それらに関わる言語情報が対訳資料群には豊富に遺されている。それらを丹念により集め整理し分析することは、日本語語彙研究を進めて行く上で価値のある作業である。

本稿においては、英学書ブーム期^(注1)において英和辞書世界に広く普及した『英和字彙』の増補訂正改訂2版（以下、適宜「2版」と略称する）における訳語収載状況を、これまでに蓄積してきた『英語節用集』を軸とする語群分析の成果とともに『哲学字彙』の訳語掲出状況とも照らし合わせながら検討を進めてみたい^(注2)。

1 調査対象資料

『英和字彙』については既に多くの先行研究があり、当代対訳辞書資料群を検討する上で欠かせぬものであることは言うまでもない。明治6年刊『附音插图英和字彙』初版の緒言には、次のようにある。（下線等稿者。以下同要領。）

恭惟 皇朝今日ノ政体広ク衆美ヲ海外諸邦ニ鑑ミ給ヒ百般ノ學術日ヲ逐テ隆盛実ニ郁々文明ナリト言ベシ 而シテ諸学業ヲ脩ルニ必用トスベキハ字書ナリ 従来一二ノ英和字書世ニ行ルト雖モ惜ラクハ完備ナル者少

シ 故ニ斯学ニ従事スル者或ハ靴ヲ隔テ痒ヲ爬ノ憾ナキ事能ハズ 於是
 林道三郎柳谷謙太郎ノ両学友ト相謀リ英国法律博士阿日耳維氏ノ字書ヲ
原本トシテ庚午ノ春始テ稿ヲ起シ公務ノ余暇ヲ倫ミ共ニ対訳ヲ勉ム 然
 レドモ之ヲ刷印スルニ許多ノ苦心ヲナセリ 會横浜ノ商絲屋平八此事ヲ
 聞抵抗当ノ有無ヲ問ズ首トシテ金若干ヲ出シ以テ我輩ノ創業ヲ助ク 因
 テ刷印ノ機械ヲ外国ヨリ購シ訳成ルニ随テ之ヲ刷印シ遂ニ今春ニ至リテ
 成功ヲ得タリ 抑此書ノ語数大約五万五千ニシテ名物ノ図五百有余アリ
 且毎語ニ口実ヲ附スルヲ以テ之ヲ従前ノ字書ニ比スレバ或ハ便ナル所ア
 ラン 固ヨリ天下ノ事理窮ナク我輩ノ見聞限アレバ挂漏誤謬ノ憂ナキ事
 能ハズ 豈此書完備読者ヲシテ麻姑ヲ侑フノ快愉アラシムト言ンヤ 唯
 英学生ノ為ニ万一ノ裨補ヲ計ルノミ 加之此類ノ字書刷印ノ法ニ至リテ
 ハ 本邦先是未ダ開ケザルモノ我輩始テ其法ヲ試ミ此書ヲ刷印スルヲ得
 タリ 故ニ今後字書ヲ刷印スル者復外国ヲ仰グ事ヲ用ヒズ 是亦開化ノ
 一助国益ノ一端ニ非ズ乎 神武天皇即位紀元二千五百三十三年 明治
 六年一月 長崎 柴田昌吉 大垣 子安峻

新たな学術の時代を迎えて対訳辞書が必要であると説く一方、世に出回っている辞書類の不備を指摘して、本書出版の意義を唱える。ウェブスター系のオーグルヴィ辞書を翻訳利用し、項目語数約五万五千に及ぶことを記している。

初版は世に好評をもって受け入れられ、それを追い風に明治15年に出版された2版の緒言は、次の通りである。

曩ニ我輩ノ此字書ヲ世ニ公ニスルヤ 明治三年ノ春始メテ稿ヲ起シ 公
 務ノ余力電勉従事シ 六年ノ春ニ於テ全ク卒業ニ至レリ 然ルニ当時活
 版印刷ノ法未タ開ケサルニ因リ 機械活字ノ類総テ之ヲ海外ヨリ購求シ
 辛勤以テ其功ヲ竣ルヲ得タリ 而シテ創業匆忙ノ際諸事未タ熟セサルカ
 故 往々粗陋訛謬ヲ免カレズ 爾来業務ノ余暇更ニ之ヲ原本ニ照シ 逐
次補正スルモノ茲ニ年アリ 去秋八月ニ至リ社員藤野永昌ヲシテ専ラ校
 正ニ従事セシメシカ 日夜刻苦能ク其任ニ堪ヘ 鈴木彦之進亦印刷ノ事
 ヲ負担シテ大ニ力アリ 蓋シ此書タルカメテ原語ノ音読ヲ訂シ旧版ノ訳
 語ヲ正シ訳字ノ繁冗ヲ省キ 且横植ノ訳字ヲ正植ニ変シ紙面ノ空白ヲ填
 メ 大ニ全部ノ体裁ヲ改メ以テ閲覽ニ便ニス 加之増補スルニ凡ソ一万
余言挿画一百余箇ヲ以テセリ 故ニ之ヲ初版ニ較レハ 精麗詳略自ラ異

ナル所アリ 庶幾ハ少シク学生ニ裨益スル所アランカ 明治十五年八月 著者謹誌

辞書の成長性は該資料においてもここにあるように発現しており、原本との照合によるなどして多くの誤謬を補正していったことが示される。売り物である発音記号の訂正、そして訳語の修正を行った作業内容が記されている。結局、一万余項目、挿図百余を増補するに及んだことが分かる。

2 調査方法

取り組んできたデータ蓄積をさらに継続するために、『英語節用集』^(注3)中に掲出される二字漢字表記訳語を有する英語見出し477項目を基に、『英和字彙』2版について照合を図る。英語見出し項目が存して掲出訳語に一致語形が見られれば〔○〕、英語見出し立項されるものの一致訳語が掲出されない場合は〔△〕、英語見出し立項がなされない場合には〔－〕としてデータベースを作成した。

3 『英和字彙』2版と周辺対訳辞書資料との訳語調査データ概観

これまでに積み重ねてきた明治20年代までの主要周辺資料に関するデータと合わせて示すと、次の表1 となる^(注4)。

表1

		『英語節用集』所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計
「英語節用集」 明17		各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
		上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
		各所収部内の二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
		上記二字漢字表記語の当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
(1) 英和掌中字典 明6		対応する〔○型〕項目数	1	5	65	15	6	2	3	3	100
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	26.0%	23.1%	10.9%	2.8%	21.4%	30.0%	21.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	141	35	27	54	8	4	275
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	56.4%	53.8%	49.1%	75.0%	57.1%	40.0%	57.7%
		対応する〔－型〕項目数	2	0	44	15	22	16	3	3	102
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	17.6%	23.1%	40.0%	22.2%	21.4%	30.0%	21.4%

(1) 第一次ブーム期	「附音挿図英和字彙」明6	対応する〔○型〕項目数	0	6	94	24	16	17	5	3	165
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	37.6%	36.9%	29.1%	23.6%	35.7%	30.0%	34.6%
		対応する〔△型〕項目数	1	2	129	30	22	46	7	6	243
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	51.6%	46.2%	40.0%	63.9%	50.0%	60.0%	50.9%
		対応する〔－型〕項目数	2	0	27	11	17	9	2	1	69
(2) A 第二次ブーム期	「華英字典」明14	対応する〔○型〕項目数	1	5	35	13	5	6	2	2	69
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	14.0%	20.0%	9.1%	8.3%	14.3%	20.0%	14.5%
		対応する〔△型〕項目数	0	2	151	37	21	40	9	4	264
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	60.4%	56.9%	38.2%	55.6%	64.3%	40.0%	55.3%
		対応する〔－型〕項目数	2	1	64	15	29	26	3	4	144
(2) B i 第二次ブーム期	「英和字彙」2版明15	対応する〔○型〕項目数	2	8	157	29	33	63	7	7	306
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	100.0%	62.8%	44.6%	60.0%	87.5%	50.0%	70.0%	64.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	74	31	11	9	5	2	132
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	29.6%	47.7%	20.0%	12.5%	35.7%	20.0%	27.7%
		対応する〔－型〕項目数	1	0	19	5	11	0	2	1	39
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	7.6%	7.7%	20.0%	0.0%	14.3%	10.0%	8.2%
	「英和袖珍字彙」明17	対応する〔○型〕項目数	1	5	79	19	14	4	4	3	129
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	31.6%	29.2%	25.5%	5.6%	28.6%	30.0%	27.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	131	34	24	54	7	4	257
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	52.4%	52.3%	43.6%	75.0%	50.0%	40.0%	53.9%
		対応する〔－型〕項目数	2	0	40	12	17	14	3	3	91
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	16.0%	18.5%	30.9%	19.4%	21.4%	30.0%	19.1%
	「学校用英和字典」明18	対応する〔○型〕項目数	1	7	93	18	19	23	8	4	173
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	87.5%	37.2%	27.7%	34.5%	31.9%	57.1%	40.0%	36.3%
		対応する〔△型〕項目数	1	1	119	37	14	40	5	3	220
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	12.5%	47.6%	56.9%	25.5%	55.6%	35.7%	30.0%	46.1%
		対応する〔－型〕項目数	1	0	38	10	22	9	1	3	84
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	15.2%	15.4%	40.0%	12.5%	7.1%	30.0%	17.6%

(2) B i 第二次ブーム期	『英和和英字典大全』明18	対応する〔○型〕項目数	0	6	94	25	18	20	5	3	171
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	37.6%	38.5%	32.7%	27.8%	35.7%	30.0%	35.8%
		対応する〔△型〕項目数	1	2	125	29	22	44	6	6	235
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	50.0%	44.6%	40.0%	61.1%	42.9%	60.0%	49.3%
		対応する〔－型〕項目数	2	0	31	11	15	8	3	1	71
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.4%	16.9%	27.3%	11.1%	21.4%	10.0%	14.9%
	『英和正辞典』明18	対応する〔○型〕項目数	0	6	83	19	13	19	5	3	148
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.2%	29.2%	23.6%	26.4%	35.7%	30.0%	31.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	2	122	31	19	36	6	4	220
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	48.8%	47.7%	34.5%	50.0%	42.9%	40.0%	46.1%
		対応する〔－型〕項目数	3	0	45	15	23	17	3	3	109
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	18.0%	23.1%	41.8%	23.6%	21.4%	30.0%	22.9%
	『新撰初学英和辞書』明18	対応する〔○型〕項目数	0	7	74	19	13	19	7	5	144
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.6%	29.2%	23.6%	26.4%	50.0%	50.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	28	16	37	3	2	207
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	43.1%	29.1%	51.4%	21.4%	20.0%	43.4%
		対応する〔－型〕項目数	3	1	55	18	26	16	4	3	126
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.0%	27.7%	47.3%	22.2%	28.6%	30.0%	26.4%
	『訂訳大全英和辞書』明18	対応する〔○型〕項目数	0	7	133	20	11	29	6	5	211
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	53.2%	30.8%	20.0%	40.3%	42.9%	50.0%	44.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	1	93	33	21	33	6	4	191
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	37.2%	50.8%	38.2%	45.8%	42.9%	40.0%	40.0%
		対応する〔－型〕項目数	3	0	24	12	23	10	2	1	75
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	9.6%	18.5%	41.8%	13.9%	14.3%	10.0%	15.7%
	『新撰英和字典』明19	対応する〔○型〕項目数	3	8	179	34	31	60	6	8	329
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	100.0%	71.6%	52.3%	56.4%	83.3%	42.9%	80.0%	69.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	56	25	7	6	5	2	101
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	22.4%	38.5%	12.7%	8.3%	35.7%	20.0%	21.2%
		対応する〔－型〕項目数	0	0	15	6	17	6	3	0	47
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	6.0%	9.2%	30.9%	8.3%	21.4%	0.0%	9.9%

(2) B ii 第二ブーム期	「英和字海」明20	対応する〔○型〕項目数	0	5	122	24	14	22	6	3	196
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	62.5%	48.8%	36.9%	25.5%	30.6%	42.9%	30.0%	41.1%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	96	29	18	39	5	5	195
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	38.4%	44.6%	32.7%	54.2%	35.7%	50.0%	40.9%
		対応する〔－型〕項目数	2	0	33	12	23	11	3	2	86
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	13.2%	18.5%	41.8%	15.3%	21.4%	20.0%	18.0%
	「英和小学策」明20	対応する〔○型〕項目数	0	7	73	20	12	20	6	6	144
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.2%	30.8%	21.8%	27.8%	42.9%	60.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	27	17	37	4	2	208
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	41.5%	30.9%	51.4%	28.6%	20.0%	43.6%
		対応する〔－型〕項目数	3	1	56	18	26	15	4	2	125
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.4%	27.7%	47.3%	20.8%	28.6%	20.0%	26.2%
	「挿画訂訳英和对訳新辞林」明20	対応する〔○型〕項目数	0	4	105	21	10	6	4	1	151
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	42.0%	32.3%	18.2%	8.3%	28.6%	10.0%	31.7%
		対応する〔△型〕項目数	0	4	121	33	21	56	8	8	251
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	48.4%	50.8%	38.2%	77.8%	57.1%	80.0%	52.6%
		対応する〔－型〕項目数	3	0	24	11	24	10	2	1	75
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	9.6%	16.9%	43.6%	13.9%	14.3%	10.0%	15.7%
	「英和对訳中字策」明21・1	対応する〔○型〕項目数	0	4	102	22	9	6	5	1	149
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	40.8%	33.8%	16.4%	8.3%	35.7%	10.0%	31.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	4	121	30	23	56	8	8	250
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	48.4%	46.2%	41.8%	77.8%	57.1%	80.0%	52.4%
		対応する〔－型〕項目数	3	0	27	13	23	10	1	1	78
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	10.8%	20.0%	41.8%	13.9%	7.1%	10.0%	16.4%
	「新訳英和字策」明21・3	対応する〔○型〕項目数	0	7	138	23	11	30	7	5	221
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	55.2%	35.4%	20.0%	41.7%	50.0%	50.0%	46.3%
		対応する〔△型〕項目数	0	1	86	30	21	32	6	4	180
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	34.4%	46.2%	38.2%	44.4%	42.9%	40.0%	37.7%
		対応する〔－型〕項目数	3	0	26	12	23	10	1	1	76
		対応する〔－型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	10.4%	18.5%	41.8%	13.9%	7.1%	10.0%	15.9%

(3) 明治20年代大型集成的対訳辞書	『漢英対照いろは辞典』明21	対応する立項〔○型〕項目数	2	6	194	52	45	54	10	9	372
		対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.6%	80.0%	81.8%	75.0%	71.4%	90.0%	78.0%
		対応する不立項〔－型〕項目数	1	2	56	13	10	18	4	1	105
		対応する不立項〔－型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.4%	20.0%	18.2%	25.0%	28.6%	10.0%	22.0%
『漢語英訳辞典』明22	『漢語英訳辞典』明22	対応する立項〔○型〕項目数	2	6	193	46	41	51	10	10	359
		対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.2%	70.8%	74.5%	70.8%	71.4%	100.0%	75.3%
		対応する不立項〔－型〕項目数	1	2	57	19	14	21	4	0	118
		対応する不立項〔－型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.8%	29.2%	25.5%	29.2%	28.6%	0.0%	24.7%
(4) 現代国語辞書	『岩波国語辞典7版』平24	対応する立項〔○型〕項目数	3	8	219	58	40	62	12	10	412
		対応する立項〔○型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	100.0%	87.6%	89.2%	72.7%	86.1%	85.7%	100.0%	86.4%
		対応する不立項〔－型〕項目数	0	0	31	7	15	10	2	0	65
		対応する不立項〔－型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	12.4%	10.8%	27.3%	13.9%	14.3%	0.0%	13.6%

『英和字彙』2版の〔○〕型合計64.2%という高い数値は、『英語節用集』が刊行された明治17年以前においては、際立ったものになっている。『英和字彙』初版も〔○〕型34.6%と低いものではないが、それにしてもこの2版の掲出訳語一致率の高さは、際立っている。『英語節用集』出版以降では『新撰英和字典』が69.0%となっており、『英語節用集』活用を示唆しているが、『英語節用集』自体の成立に影響を与えた対訳辞書として『英和字彙』2版の存在は大きなものであったことが窺える。

すなわち、英和対訳辞書資料群における〔○〕型の数値に基づいて整理すると表2のようにになっているのである。

表 2

		〔○型〕 数値				
		10～30% 未満	30～35% 未満	35～40% 未満	40～60% 未満	60～70%
第一次 ブーム期		『英和掌中字典』明6	○			
		『附音插图英和字彙』明6		○		
第二次 ブーム期	A	『華英字典』明14	○			
	B i	『英和字彙』2版 明15				○
		『英和袖珍字彙』明17	○			
		『学校用英和字典』明18				
		『英和和英字彙大全』明18		○		
		『英和正辞典』明18		○		
		『新撰初学英和辞書』明18		○		
		『訂訳大全英和辞書』明18			○	
		『新撰英和字典』明19				○
	B ii	『英和字海』明20			○	
		『英和小字彙』明20		○		
		『插画訂訳英和对訳新辞林』明20		○		
		『英和对訳中字彙』明21.1		○		
		『新訳英和字彙』明21.3			○	

『英語節用集』編者佐野正道は緒言において『哲学字彙』を利用したことを明言はしていないものの、稿者の調べでは『哲学字彙』を編集作業に重用していたことが分かっている^(注5)。一方で、当代市中に広く出回り英和辞書領域において無視することができないはずの『附音插图英和字彙』についても全く言及するところではないのであるが、今次のこの結果を見れば、かなりの頻度で『英語節用集』が『英和字彙』を利用していたという内情が窺える。やはりこの時期、『英和字彙』という対訳辞書が明治前半期とりわけ10年代までの英学世界において、いかに中心的な座にあったかということを如実に物語っているのである。

4 『英和字彙』2版調査対象訳語の明治20年代大型集成辞書・現代日用辞書における収載状況

『英和字彙』2版において今回調査した477項目に関する検討対象訳語について、明治20年代の大型漢語対訳辞書『漢語英訳辞典』と現代通用国語辞典『岩波国語辞典 第7版』の見出し立項状況と照らし合わせた結果を整理すると表3のようになる。

表中〔〇－〇〕型は、『英和字彙』2版で〔〇〕型、『漢語英訳辞典』で見出し不立項、『岩波国語辞典 第7版』で見出し項目として立項採用されている、といった要領である。

これらの型それぞれについて、以下〔〇～〕型・〔△～〕型群を中心に語彙リストを示しながら、検討して行くことにする。

表3

	『英語節用集』 所収部名	宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	各型 小計	各型内構成 比率(%)	全体内構成 比率(%)
『英和字彙』 2版で〔〇〕型 (該語掲出型)	〔〇〇〇〕型	1	6	125	23	22	41	6	7	231	75.5%	48.4%
	同上型内比率(%)	0.4%	2.6%	54.1%	10.0%	9.5%	17.7%	2.6%	3.0%			
	〔〇〇－〕型	0	0	5	0	3	1	0	0	9	2.9%	1.9%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%			
	〔〇－〇〕型	1	2	18	3	2	14	1	0	41	13.4%	8.6%
	同上型内比率(%)	2.4%	4.9%	43.9%	7.3%	4.9%	34.1%	2.4%	0.0%			
	〔〇－－〕型	0	0	9	3	6	7	0	0	25	8.2%	5.2%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	36.0%	12.0%	24.0%	28.0%	0.0%	0.0%			
	〔〇〕型小計	2	8	157	29	33	63	7	7	306	100.0%	64.2%
	同上型内比率(%)	0.7%	2.6%	51.3%	9.5%	10.8%	20.6%	2.3%	2.3%			
『英和字彙』 2版で〔△〕型 (別語掲出型)	〔△〇〇〕型	0	0	45	19	11	7	3	2	87	65.9%	18.2%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	51.7%	21.8%	12.6%	8.0%	3.4%	2.3%			
	〔△〇－〕型	0	0	4	0	0	2	0	0	6	4.5%	1.3%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%			
	〔△－〇〕型	0	0	15	8	0	0	0	0	23	17.4%	4.8%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔△－－〕型	0	0	10	4	0	0	2	0	16	12.1%	3.4%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%			
	〔△〕型小計	0	0	74	31	11	9	5	2	132	100.0%	27.7%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	56.1%	23.5%	8.3%	6.8%	3.8%	1.5%			
『英和字彙』 2版で〔－〕型 (不立項型)	〔－〇〇〕型	1	0	12	4	5	0	1	1	24	61.5%	5.0%
	同上型内比率(%)	4.2%	0.0%	50.0%	16.7%	20.8%	0.0%	4.2%	4.2%			
	〔－〇－〕型	0	0	2	0	0	0	0	0	2	5.1%	0.4%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔－－〇〕型	0	0	4	1	0	0	1	0	6	15.4%	1.3%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%			
	〔－－－〕型	0	0	1	0	6	0	0	0	7	17.9%	1.5%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔－〕型小計	1	0	19	5	11	0	2	1	39	100.0%	8.2%
	同上型内比率(%)	2.6%	0.0%	48.7%	12.8%	28.2%	0.0%	5.1%	2.6%			
全体合計		3	8	250	65	55	72	14	10	477	－	100.0%

4-1 『英和字彙』2版〔〇～〕型群

『哲学字彙』2版と『英和字彙』2版とを重ね合わせて検討を加える。明治17年5月刊『哲学字彙』2版は、同年11月に出版された『英語節用集』に大きな影響を与えている。一方、今回調査対象とした明治15年刊『英和字彙』2版は先に見たように『英語節用集』との一致訳語収載率が高く、『英語節用集』編者が当代世間に普及したこの対訳辞書もまた大いに利用したことが窺われ、これら3資料を重ねて照合し検討することは意義深いものと考ええる。

『英和字彙』2版〔〇～〕型群について、『哲学字彙』2版との対応ぶりを合わせてまとめると表4のとおりである。

表4

『英和字彙』2版〔〇型〕の内訳		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計	比率
〔〇〇〇〕型	『哲学字彙』2版 【〇】－〔〇〇〇〕型	1	5	74	7	18	40	1	6	152	65.8%
	『哲学字彙』2版 【△】－〔〇〇〇〕型		1	11	1	1	1		1	16	6.9%
	『哲学字彙』2版 【－】－〔〇〇〇〕型			40	15	3		5		63	27.3%
	小計	1	6	125	23	22	41	6	7	231	100.0%
〔〇〇－〕型	『哲学字彙』2版 【〇】－〔〇〇－〕型			4		3	1			8	88.9%
	『哲学字彙』2版 【△】－〔〇〇－〕型			1						1	11.1%
	『哲学字彙』2版 【－】－〔〇〇－〕型									0	0.0%
	小計	0	0	5	0	3	1	0	0	9	100.0%
〔〇－〇〕型	『哲学字彙』2版 【〇】－〔〇－〇〕型	1	1	13	1	2	13			31	75.6%
	『哲学字彙』2版 【△】－〔〇－〇〕型			2	1					3	7.3%
	『哲学字彙』2版 【－】－〔〇－〇〕型		1	3	1		1	1		7	17.1%
	小計	1	2	18	3	2	14	1	0	41	100.0%
〔〇－－〕型	『哲学字彙』2版 【〇】－〔〇－－〕型			9	1	4	7			21	84.0%
	『哲学字彙』2版 【△】－〔〇－－〕型				1	1				2	8.0%
	『哲学字彙』2版 【－】－〔〇－－〕型				1	1				2	8.0%
	小計	0	0	9	3	6	7	0	0	25	100.0%
合計		2	8	157	29	33	63	7	7	306	

【『哲学字彙』2版〔〇〕－〔〇〇〇〕型】

【宗哲】 仏教 /Buddhism 【學術】 科学 /Science 哲学 /
Philosophy ← Phylosophy * 化学 /Chemistry ← Chemistry * 数学
/ Mathematics 文学 /Literature 【宗応】 宗教 /Religion 天堂 /

Heaven ① 地獄 /Hell 偶像 /Idol 恭敬 /Worship 私慾 /Selfishness
 誘惑 /Temptation 社会 /Society ① 正義 /Justice ① 克己 /Self-denial
 慈悲 /Grace ① 靈魂 /Soul 五官 /Five-senses 感覺 /Sensation 原因 /
 Cause 結果 /Effect 觀念 /Idea 虛無 /Void 憂愁 /Sorrow 真理 /
 Truth 感応 /Feeling ① 術数 /Policy ① 氣力 /Vigour 性質 /Character
 偏執 /Bias 金言 /Aphorism 讚美 /Approbation 智慧 /Wisdom 不朽 /
 Perpetuity 題目 /Thesis 熱心 /Zeal 名辭 /Term 名目 /Name 心痛
 /Pang 利用 /Utility 奇遇 /Accident 自殺 /Suicide 門派 /
 System ← Sistem * 淨土 /Purgatory 空虛 /Vacuum 究竟 /
 Ultimate ← Ultimote * 真如 /Reality 上天 /Heaven ② 洗礼 /Baptism
 慈悲 /Grace ② 清淨 /Purity 解釋 /Explanation 神聖 /Holiness 發明
 /Invention 民情 /Nationality ① 注意 /Attention 天命 /Providence 平
 等 /Equality ← Eequality * 歸服 /Obedience 獨立 /Independence 嫉妬
 /Jealousy 一般 /General 衰微 /Decline 名譽 /Honor 教育 /Education
 習慣 /Custom ① 自由 /Liberty 道理 /Reason 世界 /World 混沌 /
 Chaos 名声 /Reputation 全能 /Almighty ← Almighty * 天使 /Angel 創
 造 /Creation 情緒 /Emotion 異教 /Gentilism 正教 /Orthodox 天賦 /
 Implanted 有情 /Sentient 【人官】 隱者 /Eremit 化身 /Avatar 国民
 /Nation 子孫 /Offspring 宰相 /Prime Minister ← Prim Minister * 神仙
 /Genii 主宰 /Ruler 【政法】 國家 /State 政權 /Political-right 權利 /
 Right 平安 /Peace ① 軍律 /Martial-law 政府 /Government 租稅 /
 Taxation 革命 /Revolution ② 王國 /Kingdom 市區 /Municipality 民
 情 /Nationality ② 國政 /Polity 憲法 /Consti-tution 法律 /Law ② 家政
 /Economics 誤用 /Misuse 商議 /Negotiation 命令 /Order ② 【政応】
 徒黨 /Party ② 同盟 /Alliance 補任 /Appoint-ment 結合 /Combination
 完全 /Complete 連絡 /Connection 默許 /Tacit-consent 抑制 /Control
 公會 /Convention ② 節操 /Continen-ence 勢力 /Energy 獨斷 /Dogma
 腕力 /Physical-force 結局 /Goal 無罪 /Inno-cence 教唆 /Instigation
 正義 /Justice ② 義氣 /Patriotism 反逆 /Rebellion 服從 /Homage 交
 誼 /Friendship 平安 /Peace ② 償還 /Payment 堅忍 /Perseverance 全
 權 /Absolute-power 口実 /Pretension 主義 /Principle 問題 /Problem
 未決 /Problematic 遁辭 /Quibble 理由 /Rationale ← Rational * 贅言 /

Redundancy 駁撃/Refutation 会員/Member ② 隠遁/Seclusion 撰
 択/Selection 規則/Rule 理論/Theory 許容/Toleration 弁理/
 Transaction 【堂処】 関税/Custom ② 【年歴】 年代/Age 歴史/
 History 服従/Subjection 帰化/Naturalization ← Naturali-gation * 事
 実/Fact 社会/Society ②

このグループは、『哲学字彙』2版『英和字彙』2版ともに収載しており、かつ現代通用辞書においても見出し立項され現代日本語語彙として定着を見ている語群となる。

これらについて『英和字彙』初版と2版の間で照合すると、二重下線の英語見出しが初版では立項されていないことから、『英語節用集』編者が『英和字彙』利用に際しては『英和字彙』2版を利用している可能性が高いものと見る。無論、『哲学字彙』だけを見たといったことも考え得るが、以下の検討で例えば『哲学字彙』〔-〕の群において『英和字彙』を利用したという項目がいくつも見られることから、『英和字彙』の利用とまたその際に2版を利用しているということが窺える。

さらには、当群波線の訳語については当該英語見出し項目において、『附音插图英和字彙』で『英語節用集』収載訳語が存しないものの、『英和字彙』2版で掲載訳語の一致が見られることも、『英和字彙』2版を便利に便利に参照していることがより強く想定できる次第である。

なお明治15年刊『英和字彙』2版を明治17年刊『哲学字彙』2版が利用しているということも一方で十分に考えるべきところであるが、ここでは今後の課題ということとして別の機会に掘り下げたい。

【『哲学字彙』2版〔△〕－〔〇〇〇〕型】

【學術】語学《原語学》/Philology ← Phylogy * 【宗応】道德《行状道義》/Morality 信用《信 信仰 憑信 依信 信心》/Belief 議論《討論》/Debate 會議《公会（法）》/Convention ① 公会《国会 巴力門》/Parliament ← Partiamment * 生活《生命》/Life 關係《干係 条件 余波 影響》/Consequence 愛情《親愛 恋情》/Love 才智《睿智 虚靈【2行割注（略）】》/Intelligence 愛情《偏向 性癖 意奴》/Inclination 風俗《態度 儀容》/Manner 【人官】眷属《親属》/Kin 【政法】国法

《市法》/Municipal-law 【政応】特許《特権（法）》/Privilege ← Privilage *
 【年歴】総計《統計》/Totality

これらは、『英語節用集』が『哲学字彙』2版訳語を採用していない一方で『英和字彙』2版に一致訳語を見ることができたものであり、かつ現代通用の語彙として伝わっているものである。当群中で、『哲学字彙』2版について『英語節用集』編者が結局採用しなかった語形を《》中に示しているが、「原語学」「市法」など現代日常には生き残っていない語形が見られる一方で、「生命」「特権」「統計」など現代通用のものも見受けられ、『英語節用集』編者の採用した訳語が以降に辿った道筋が異なっている点は興味深い。

また、『英語節用集』は学術用語を比較的積極的に『哲学字彙』から採用しているのであるが、「公会（法）」でなく「会議」を、「特権（法）」でなく「特許」を採用する。ここでの採用語形が『英和字彙』の訳語群に存するところに、両資料に対する『英語節用集』編者の振る舞いに、当代学術用語に対する観察事情を窺うことができる点もまた貴重な言語情報と言える。

【『哲学字彙』2版〔-〕－【〇〇〇】型】

【宗応】良心/Moral sense ← Moralsence * 禁止/Confinement 集会/Assemble 異説/Dissent 教会/Congregation 不幸/Unfortunate 楽譜/Music-book 改正/Meliority 正直/Justness ← Jastness * 寺領/Parish 説法/Preaching 魔法/Incantation 自負/Self-confidence 狡猾/Cunning 改宗/Convert 便利/Convenient 永続/Continued 争論/Contention 裁判/Judicature 侵入/Invasion ← Invation * 結合/Coalescence 音楽/Music 編輯/Compilation 内部/Interior 骸骨/Skeleton 戒心/Caution 基礎/Founded 旅行/Travel 臆説/Hypothetical 比較/Compare 妄想/Fanciful 石碑/Monument ← Manumend * 遺物/Relics 攻撃/Attack 餓死/Starve ← Staved * 抵抗/Resist 独学/Self-educated 戦争/Warfare 無形/Spiritual 一揆/Insurrection 【人官】商人/Merchant 貴族/Noble-man 兵卒/Soldier 伶人/Musician 巡查/Police-man 老人/Oldman 医者/Physician ① 両親/Parent 兄弟/Brother 姉妹/Sister 叔父/Uncle 女王/Queen ← Queen * 盲目/Blind 博士/Professor 悪漢/Wretch 【政法】帝国/Empire 管轄/Govern 内閣/Cabinet 【堂

処】鐘楼/Belfry 本寺/Mother-church 宮殿/Palace 銀行/Bank 病院/Hospital

この群は『哲学字彙』2版に項目自体が存しないものであり、学術用語集として一般の利用においては用途が制限される気味が強い該資料の限界を窺わせるところであり、また対照的に市井普及の人気辞書『英和字彙』を柔軟に利用しもした『英語節用集』といった構図を看取することもできる。このグループに属する項目数が比較的多くに上る点は、『英和字彙』の当代における影響力を見せつけるものでもあり、これらが現代通用語彙として生き残っていることを見るにつけ、『英和字彙』が現代日本語語彙の基盤が形成される時期にこうしてさまざまな局面に顔をのぞかせる主要資料であることが再確認できるところである。

【哲学字彙』2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔○○－〕型】

『哲学字彙』2版〔○〕－〔○○－〕型	【宗応】昌盛/Prosperity ← Frosperity * 勳勞/Merit 誠信/Faith 降生/Incarnation	【政法】政法/Political-law 民政/Democracy 政法/Policy ②	【政応】廉節/Temperance
『哲学字彙』2版〔△〕－〔○○－〕型	【宗応】記憶/Memory		
『哲学字彙』2版〔－〕－〔○○－〕型	なし		

ここに挙がる訳語群は、明治20年代の大型漢語対訳辞書見出し項目に立てられるものの、現代日用の国語辞書には残らないものであるが、多くは見られない。〔○〕－〔○○－〕型について、『哲学字彙』『英和字彙』『漢語英訳辞典』と収載される事情からみて、明治中期までは少なくとも翻訳漢語領域においてそれなりの広がりを持ったものであったかと思われる。

Incarnation については次の通りであり、『英和字彙』初版と2版の間で句から語への訳語の成長が確認でき、かつ「降生」が宗教用語であることを添えており、『哲学字彙』両版は宗教学の専門用語と付記明示していることで、その専門術語としての位相が強く印象づけられる。現代日用の語として遺らなかった事情はそのあたりにあることも示唆するところである。

『英和字彙』初版：肉ニテ包事 人類ト為事 肉ヲ生ズル事

『英和字彙』2版：肉ニテ包ム事 降生（宗教ニ云） 肉芽萌生

『哲学字彙』初版：降生（宗）

『哲学字彙』2版：降生（宗）

Democracy の訳語掲出については下記の通り、『附音插图英和字彙』初版と2版の間で「民政」が「共和政治」に対して掲出首位に取って替わるといったあり様で、『哲学字彙』の状況と合わせて当世における該語の勢いが窺える。

『英和字彙』初版：共和政治 民政

『英和字彙』2版：民政 共和政治

『哲学字彙』初版：民政

『哲学字彙』2版：民政

【哲学字彙】2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔○－○〕型

『哲学字彙』2版〔○〕－〔○－○〕型 【宗哲】秘教/Esotericism 【學術】神学/Theology 【宗 応】樂園/Paradise ← Paradi-ce * 虚忘/Absurd 預知/Prescience ← Precience * 自覚/Self- consciousness 固執/Bigotry 永存/Persistence 不正/Wrong 預言/Prophecy 進化/ Evolution 神経/Nerve 虚霊/Spiritual existence 元始/Beginning 理想/Ideal 【人官】外道/ Heresy 【政法】動議/Motion 体制/Organization ← Oganization * 【政応】内政/Administr- ation 逆説/Paradox ① 公準/Postu-late 予察/Presumption 非議/Reproach 自制/Self- control 自責/Self-reproach 自決/Self-determination 詭弁/Sophism 競争/Struggle ① 同情/ Sympathy 逆理/Unreasonable ← Anrea-sonable * 発動/Act
『哲学字彙』2版〔△〕－〔○－○〕型 【宗応】供物/Sacrifice 略説/Summary 【人官】巫女/ Witch
『哲学字彙』2版〔－〕－〔○－○〕型 【學術】詩学/Poesy 【宗応】画像/Portrait 後住(寺 ノ)/Provior 殖民/Settler ← Settled 【人官】歯医/Dentist 【政応】大本/Fundamental-principle 【堂処】墓地/Church-yard

この群で現代通用国語辞書で見出し立項される語が『漢語英訳辞典』において不掲出となっている点には、些か不分明なところが残る。『漢語英訳辞典』は当代漢語語彙群を広く取り上げた大型辞書資料であるが、編者ガビンスの序言には利用した辞書資料群がいくつも示されるものの市井なかんづく口頭音声の日本語実態について積極的に言及する素振りは見られない。結局、『漢語英訳辞典』が先行辞書資料を基として漢語群を集める編集作業の中で、一般通用の語彙において若干手薄とならざるを得なかった事情も垣間見えるのである。

ひとまずここに挙がるもののうち、『哲学字彙』と『英和字彙』での動向に目を向けると、例えば Evolution については次の事情である。

『英和字彙』初版：展開（ヒラキ）開方（算術ノ語）隊伍ノ変化

『英和字彙』2版：展開 化醇 進化 開進 亢進 少広 開方（算術ノ語）隊伍ノ転変

『哲学字彙』初版：化醇【2行割注(略)】進化 開進

『哲学字彙』2版：化醇【2行割注(略)】進化 開進

『英和字彙』初版で見られなかった「化醇」が同2版、また『哲学字彙』両版において掲載序列が高くなっており、現代通用の「進化」は後塵を拝している感がある。『漢語英訳辞典』での「進化」不立項の周辺状況として、こうした事情が編集作業に影を落とした可能性も幾分かあったのかもしれない。

また、Spiritual existence 項目については次の通り。

『英和字彙』初版：項目なし

『英和字彙』2版：虚霊

『哲学字彙』初版：虚霊

『哲学字彙』2版：虚霊 法身

『英和字彙』初版で取り沙汰されていなかった熟語項目であったが、同2版また『哲学字彙』両版で採用されるといった比較的急な勢いを示す中で、訳語「虚霊」が展開している。ただし『哲学字彙』2版では「法身」が添えられており必ずしも英和1対1で強固な対訳上の組み合わせを形成していなかった事情も窺える。結局現代日用の語として遺存することなく終わった点もそうした基盤の弱さが該語には存したことが示唆されていると見る。

【哲学字彙』2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔○－〕型】

『哲学字彙』2版〔○〕－〔○－〕型 【宗応】邪執/Prejudice 謬信/Superstition 信約/Credit 有体/Corporeal 執意/Volition 成效/Result 定道/Predestination 激因/Stimulus 習成/Factitious 【人官】逸士/Hermit 【政法】天権/Natural-right 徳権/Moral-right 君政/Monarchy 機制/Mechanism 【政応】反情/Antipathy 明許/Express-consent 妄論/Paralogism 種属/Race ① 自護/Self-defence 通理/Universal-truth 漸化/Variation
『哲学字彙』2版〔△〕－〔○－〕型 【人官】審吏/Justice of the peace 【政法】法権/Legal-right
『哲学字彙』2版〔－〕－〔○－〕型 【人官】耶蘇/Christ 【政法】性法/Law of nature

『哲学字彙』2版〔○〕－〔○－〕型は、『哲学字彙』『附音插图英和字彙』『英語節用集』の採用訳語形中で明治10年代には少なくとも學術用語としては一時期それなりに座を獲得していたにも関わらず、20年代以降現代に至るまでに力を失った一団として捉えることができよう。

Antipathy の訳語形については、次のように掲出されていた。

『英和字彙』初版：生来ノ嫌 嫌悪 反対

『英和字彙』2版：生来ノ嫌忌 嫌棄 厭悪 反対 反情

『哲学字彙』初版：反情

『哲学字彙』2版：反情

『英和字彙』を窺うと、初版で挙げられない「反情」が2版でようやく末尾に添えられた形であるが、これが一方で『哲学字彙』両版において強固に英和1対1の連結を形成しており、それを『英語節用集』が採用した形である。現代通用語形「反感」に関する記述はこれらには見られない。3資料におけるこうした訳語の扱われ方は、当代學術用語「反情」のあり様を考える上で貴重な情報を与える。明治10年代専門用語として訳語世界でそれなりの一時期を経た後、現代で廃語形扱いとなる顛末となった事情を検討する際には、欠かせぬ参考素材となるはずである。

4-2 『英和字彙』2版〔△～〕型群

『哲学字彙』2版と照らし合わせて示すと、表5のとおりである。

表5

『英和字彙』2版〔△型〕の内訳		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計	比率
〔△○○〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔△○○〕型			3	1	3	4			11	12.6%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔△○○〕型			17	6	5	2	1	2	33	37.9%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔△○○〕型			25	12	3	1	2		43	49.4%
	小計	0	0	45	19	11	7	3	2	87	100.0%
〔△○-〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔△○-〕型			1			1			2	33.3%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔△○-〕型			1						1	16.7%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔△○-〕型			2			1			3	50.0%
	小計	0	0	4	0	0	2	0	0	6	100.0%
〔△-○〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔△-○〕型			2	2					4	17.4%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔△-○〕型			6	1					7	30.4%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔△-○〕型			7	5					12	52.2%
	小計	0	0	15	8	0	0	0	0	23	100.0%
〔△--〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔△--〕型			1						1	6.3%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔△--〕型			7	1					8	50.0%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔△--〕型			2	3			2		7	43.8%
	小計	0	0	10	4	0	0	2	0	16	100.0%
合計		0	0	74	31	11	9	5	2	132	

【哲学字彙】2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔△○○〕型

『哲学字彙』2版〔○〕－〔△○○〕型	【宗応】	真実/Real	方便/Mean	絶対/Absolute	【人官】
奴隷/Slave	【政法】	民法/Civil-law	刑法/Criminal-law	法式/Modus	【政応】
允許/Consent	条例/Regulation	②	定論/Theorem		
『哲学字彙』2版〔△〕－〔△○○〕型	【宗応】	蘇生/Revive	感動/Impression	驕慢/Pride	宗
徒/Apostle	悲痛/Lamentation	憐愍/Pity	驚愕/Wonder	奇談/Paradox	②←
Pardox *	講談/Lecture	←	Pecture *	差別/Diference	守護/Conservation
改革/Revolution	①	驕慢/Self-conceit			
文明/Civilization	意思/Wil	法則/Method	慣習/Habit	【人官】	僧正(邪教ノ)/Bishop
朋党/Party	①	碩儒/Polymathy	長官/President	法師/Clerk	門徒/Member
①	【政法】	法制/Law			
布達/Proclamation	指令/Order	①	規則/Regulation	①	請願/Petition
【政応】	律令/Canon				
要路/Compendium	【堂処】	首府/Capital	【年歴】	闘争/Struggle	②←
Straggle *	人種/Race	②			
『哲学字彙』2版〔－〕－〔△○○〕型	【宗応】	木像/Wooden-idol	信仰/Devotion	施物/Almonry	
瑞相/Lucky-omen	←	Lucky-omen *	愚痴/Obtuseness	客舎/Public-house	高言/Rant
願望/Requisition	一致/Consort	落涙/Shed-tear	理論/Declamation	和睦/Concord	社中/
Company	外部/Exterior	野蛮/Barbaric	単純/Similar	堪忍/Abstain	自滅/Self-destruction
拜礼/Supplication	←	Spplcation *	有形/Physical	公平/Conscientiously	支配/Domination
死骸/Corpse	←	Corse *	葬礼/Interment	非情/Insensible	【人官】
信者/Believer	天狗/Cherubim	紳士/Gentle-man	農民/Peasant	平民/Laity	皇族/Royal-family
囚人/Prisoner	官員/Officer	出家/Monk	元祖/Originator	叔母/Aunt	医師/Physician
②	【政法】	参議/Privy			
councilor	廣告/Notification	建白/Memorial	【政応】	与論/Public-opinion	【堂処】
旅館/Hotel					

〔○〕－〔△○○〕型において、Civil-law の対応訳語は『英和字彙』初版・2版が「民律」、『哲学字彙』初版・2版は「民法」で一語ずつが掲出される中、『英語節用集』はこのうち後者を採用する。「民律」は現代通用語形ではないが、そこにつながる情勢が当代既に生じていたことを示唆する。同様のことは Criminal-law をめぐっても見られ、『英和字彙』初版・2版が「刑律」を挙げているが、『哲学字彙』初版・2版の「刑法」を『英語節用集』が受けられていて、「刑律」は現代日用で用いられることはないのである。

一方で、〔△〕－〔△○○〕型の Paradox は次のようであった。

『英和字彙』初版：奇怪ニ似テ反テ道理アル説 奇怪ノ話

『英和字彙』2版：逆説 奇怪ニ似テ反テ道理アル説 奇怪ノ話

『哲学字彙』初版：逆説

『哲学字彙』2版：逆説

『英和字彙』において句から語「逆説」への展開が見られ、該語は『哲学字彙』両版で英和1対1の強い組み合わせとして確認できる。これに対して『英語節用集』は該語でなく「奇談」を掲出しており、両資料と些か距離を置く結果となっている。

【哲学字彙】2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔△○－〕型】

『哲学字彙』2版〔○〕－〔△○－〕型	【宗応】悔改/Repentance	【政応】中裁/Reconciliation
『哲学字彙』2版〔△〕－〔△○－〕型	【宗応】刑罪/Punishment	
『哲学字彙』2版〔－〕－〔△○－〕型	【宗応】除地/Alodium	悦服/Obey 【政応】虚誉/Vain-glory

Repentance については、次のように掲出されている。

『英和字彙』初版：後悔

『英和字彙』2版：悔恨

『哲学字彙』初版：悔改

『哲学字彙』2版：悔改

ここでは『英和字彙』で「後悔」から「悔恨」へと訳語の取り換えが見られる一方で、『哲学字彙』と引き合わせた『英語節用集』編者が「悔改」を採用している点に注目できる。結局、現代通用辞書の見出しとして「悔改」は立てられないといった変遷を辿っていて、該語の展開を見図の上で着目できる。

Reconciliation の訳語掲出は、次の通り。

『英和字彙』初版：勸解 一致 符号

『英和字彙』2版：勸解 講和 仲裁 一致 符号

『哲学字彙』初版：講和 中裁

『哲学字彙』2版：講和 中裁 調停

『英和字彙』2版では「仲裁」と類似レベルでの文字違いであり『哲学字彙』両版の「中裁」に近似するところである。ここでは『英語節用集』は後者を採用し『哲学字彙』との親密性を示すが、現代では「仲裁」が日常においても専門用語においても通用語形であると考えられるところから、両語形に対する『哲学字彙』『英語節用集』の取り沙汰ぶりは興味深い。『英語節用集』が緒言において「学者応用ノ術語」「講談演説」双方に言い及び、学術専門世界と口頭舞台での言語使用とを共に賄おうとして、専門性と汎用性が両様混じる形となったこと、それが明治期第2次英学書ブームを支えた対訳辞書資料世界において見逃せないことについては、これまでに指摘してきたところである^(注6)。

より専門性が高い「中裁」と汎用性に勝る「仲裁」とをめぐる3資料の動向は、対訳辞書世界が専門性と汎用性に分かれる気配があり、あるいは『哲学字彙』のように専門性を特化する対訳辞書が力強く押し出される明治10年

代半ばに、『英語節用集』は小型語彙集規模でありながら専門性も汎用性も盛り込もうとした編集を行った。以降の比較的規模が大きな辞書資料が出版技術の高まりもあって、『哲学字彙』のように学問領域を注記明示する専門用語も汎用的な通用語も多く併せ取り混ぜて掲出するのが広く行われることとなるその時期の到来を告げる資料として『英語節用集』の価値付けを考えて良いのではないかと。

Allodium は、『英和字彙』初版・2版とも「私有地」を訳語掲出、『哲学字彙』初版・2版ともに項目なし、『英語節用集』が「除地」掲出と三者三様で対応に共通点がない。『漢語英訳辞典』が「除地」を挙げているのは注目できるが、明治期当代に僅かに見られた該語形は結局現代通用辞書に見出し立項されることはなく衰退している。こうしたところにも、明治10年代半ば以降の対訳辞書資料を吟味する際に照合を密に行うことの必要性を認め得る。

【哲学字彙】2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔△－○〕型

『哲学字彙』2版〔○〕－〔△－○〕型	【宗応】天真/Natural 心意/Mind	【人官】仏陀/Buddha 牧師/Pedagogue
『哲学字彙』2版〔△〕－〔△－○〕型	【宗応】常住/Unchangeable 輪廻/Transmission 廃滅/Ruin 不能/Impossible 運命/Destiny 推理/Inference	【人官】悪魔/Satan
『哲学字彙』2版〔－〕－〔△－○〕型	【宗応】無常/Changeable 偽計/Deceite 信心/Spirituality 強欲/Lust 演説/Speech 牢獄/Jail 土葬/Catacombs	【人官】幽霊/Sprite 詩家/Poet 婦女/Woman 教官/Teacher 坊主/Monastic

〔○〕－〔△－○〕型 Pedagogue に対する訳語は、『英和字彙』が初版「教師 童子ノ師匠」2版「教師 幼学教師」であり、『哲学字彙』は両版「牧師」を掲げ、『英語節用集』は後者を採用してここでは前者と距離を取っている。一方で、〔△〕－〔△－○〕型 Destiny は、『英和字彙』初版「天運 命運」2版「天運 命運 命数」に対して『哲学字彙』両版「命数」となっているが、『英語節用集』はいずれでもなく「命運」の転倒語形「運命」を掲げており、対応は一様でない。

【哲学字彙】2版〔○〕／〔△〕／〔－〕－〔△－〕型

『哲学字彙』2版〔○〕－〔△－〕型	【宗応】拝像/Idolatry	
『哲学字彙』2版〔△〕－〔△－〕型	【宗応】怒悪/Rage 味趣/Taste 崇奉/Adulation ← Adration * 布弘/Propagation 寺法/Canon-law ← Conon-Law * 原素/Elements 智覚/Feeling ②	【人官】弁者/Eloquent
『哲学字彙』2版〔－〕－〔△－〕型	【宗応】敬謹/Respectful 出板/Edition	【人官】仏弟/Buddhist 諸生/Scholar 蕃民/Savageness 【堂処】貧院/Alms 屋宇/Edifice

〔△〕－〔△－〕型 Propagation については、次の通りである。

『英和字彙』初版：伝ル事 殖ス事 弘ル事 生スル事

『英和字彙』2版：宣伝 繁殖 布揚 生殖

『哲学字彙』初版：項目なし

『哲学字彙』2版：伝播 布揚

『英和字彙』において句から語への展開が見られる一方、『哲学字彙』では項目増補が確認できるが、『英語節用集』はひとまず項目を立ててはいるものの一連の訳語についていずれの採用にも及ばず、現代では衰えた語形「布弘」を掲載して終わっている。Canon-law についても、『英和字彙』両版「教会律例」、『哲学字彙』初版項目不立項・2版「宗教律」といった具合に挙げられた訳語を全く採用することなく、やはり現代衰退気味の「寺法」を載せて編集を終了することになっている。

このあたり、『英語節用集』掲出訳語の中に編者が緒言に述べるよう「寒村僻邑ニ在リテ書籍師友ニ乏シキ人」に向けて編集作業を進める際に、『英和字彙』『哲学字彙』といった高名な辞書に挙げないものでも採り入れている内情を示して興味深い^(注7)。一方で『英語節用集』は題名に「弁士必携」の角書を冠したように、同緒言には「弁士タル者必ス先ツ各種ノ学ニ通シ該羅余スコトナク其蘊籍スル所ヲ流ル、カ如キノ雄弁ヲ以テ演出スル」と、音声言語における活用をも目指していることを強調している。このことに着目すれば、「寺法」語形採用には、市井巷間で該語が割合にまかり通っていてそれを採用することが編者の判断を後押ししたといった事情を想定することすら可能だと言えるのではなかろうか。しかしながら、こうして採用されたにせよ「寺法」は以降辞書掲載の領域からは退くこととなり、結局辞書資料に窺う限りにおいて当代僅か限定的な掲出にとどまることとなった顛末を伝えるのである。

4-3 『英和字彙』2版〔-〕型群

表6

『英和字彙』2版〔-型〕の内訳		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計	比率
〔-○○〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔-○○〕型	1		1		2			1	5	20.8%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔-○○〕型				1					1	4.2%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔-○○〕型			11	3	3		1		18	75.0%
	小計	1	0	12	4	5	0	1	1	24	100.0%
〔-○-〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔-○-〕型			2						2	100.0%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔-○-〕型									0	0.0%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔-○-〕型									0	0.0%
	小計	0	0	2	0	0	0	0	0	2	100.0%
〔--○〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔--○〕型			3						3	50.0%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔--○〕型									0	0.0%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔--○〕型			1	1			1		3	50.0%
	小計	0	0	4	1	0	0	1	0	6	100.0%
〔---〕型	『哲学字彙』2版 【○】-〔---〕型					2				2	28.6%
	『哲学字彙』2版 【△】-〔---〕型									0	0.0%
	『哲学字彙』2版 【-】-〔---〕型			1		4				5	71.4%
	小計	0	0	1	0	6	0	0	0	7	100.0%
合計		1	0	19	5	11	0	2	1	39	

【哲学字彙』2版【○】/【△】/【-】-〔-○○〕型】

『哲学字彙』2版【○】 - 【-○○】型	【宗哲】神道/Shintoism	【宗応】寓言/Phenakism	【政法】立法/Legislative-power	除籍/Denationalization	【年歴】建国/Nationalization ← Nationali-gation *													
『哲学字彙』2版【△】 - 【-○○】型	【人官】学士/Scientist																	
『哲学字彙』2版【-】 - 【-○○】型	【宗応】現世/Present-world	悪念/Evil-thought	悪業/Evil-deed	怠惰/Neglectedness	故郷/Native-place	後悔/Contriteness	行状/Comportment	遍歴/Extravagated	誘引/Enticement ← Exticement	精進/Religious-abstinence ← Religious-abstinence *	教化/Humanization	【人官】賢者/Wise-man	学者/Learned-man	聖人/Holy-man	【政法】行政/Executive-power	虐政/Cruel-Government	県令/Governor of province ← Governor of provinc *	【堂処】薬舗/Apothecary-shop

この群の中、【○】-〔-○○〕型は『英和字彙』2版において項目は掲げられない一方、『英語節用集』が『哲学字彙』2版に従ったかたちで項目を立てかつ一致訳語を採用したもので、現代通用語形として残っている。米国系の流れを汲む『英和字彙』がShintoismを不掲載とすることはさほどに意

外なこととまでは映らないが、ほかの項目については事情がよく分からぬまに『哲学字彙』との差異を際立たせるところとなっている。

一方で〔－〕－〔－〇〇〕型については、『英和字彙』にも『哲学字彙』にも項目が無いものであるが、割合に項目数も存しており『英語節用集』の参照している資料なり些か気になるところである。

以降のグループについては、数も少なく項目リストを示すにとどめる。

【哲学字彙】2版〔〇〕／〔△〕／〔－〕－〔－〇－〕型】

『哲学字彙』2版〔〇〕－〔－〇－〕型	なし
『哲学字彙』2版〔△〕－〔－〇－〕型	なし
『哲学字彙』2版〔－〕－〔－〇－〕型	【宗応】覚他 /To lead consciousness of otherselves 練熟 /Masterliness

【哲学字彙】2版〔〇〕／〔△〕／〔－〕－〔－〇〕型】

『哲学字彙』2版〔〇〕－〔－〇〕型	【宗応】涅槃 /Nirvana ← Nivana * 利他 /Altruism 無碍 /Unconditioned ← Unconditioneal *
『哲学字彙』2版〔△〕－〔－〇〕型	なし
『哲学字彙』2版〔－〕－〔－〇〕型	【宗応】自利 /Self-benefit 【人官】演者 /Speech-man 【堂処】仏堂 /Budder

【哲学字彙】2版〔〇〕／〔△〕／〔－〕－〔－〕型】

『哲学字彙』2版〔〇〕－〔－〕型	【政法】用式 /Modus-ponens 廢式 /Modus-tolens
『哲学字彙』2版〔△〕－〔－〕型	なし
『哲学字彙』2版〔－〕－〔－〕型	【宗応】瑞夢 /Lucky-dream ← Luchy-dream * 【政法】純権 /Absolute-right 大輔 /Vice-minister 少輔 /Assistantviceminister 知府 /Governor of department

おわりに

『英和字彙』は当代英和辞書で最も良く出回ったものの一つであり、『英語節用集』においてもその利用を窺わせるところを多く確認することができた。一方で今回『哲学字彙』の利用とのバランスを見計らうことも試みたが、3資料の間でそれぞれの編集作業内情の一端をようやく垣間見たに過ぎず、そこには複雑に絡み合い一様に定まらないところも多く、まだまだ明らかにし得ない部分が積み残される結果となった。それらを今後の課題として、さらに当代対訳辞書資料の調査分析を続けて行くこととしたい。

- ◎本稿は、平成29～令和3年度科学研究費補助金基盤研究(C)：研究課題「福岡に残る洋学資料コレクション筑紫文庫資料を主対象とした近代対訳辞書の基盤研究」の成果の一部を活かしたものである。
- ◎本稿を両親洋一笑子に捧げる。

【注】

- 注1 本稿では、屋名池(1991)を基としながら、第一次英学書ブーム期を安政6年から明治6年前後まで、第二次英学書ブーム期は概ね明治10年代半ば以降と考える。
- 注2 本稿に扱う資料群は、国立国会図書館デジタルコレクションにて公開されているものを主たる対象とした。
- 注3 『英語節用集』の本編8部門は以下の通り。各部門の略称を()内に示す。
 宗教及哲学論派名称【**宗哲**】：135項目／学術名称【**學術**】：61項目／宗教家応用語【**宗応**】：284項目／人品及官位【**人官**】：160項目／政治及法制【**政法**】：123項目／政治家応用語【**政応**】：93項目／堂屋及処名【**堂処**】：40項目／年代及歴史【**年歴**】：18項目。
 本編においては総計914項目を節用集風に部門別構造で配置しており、巻末付録に「各国政体及宗教」部が付される。本稿データリストの掲載記述中、「←」は稿者が英字綴りの単純な誤用と判断して英字綴りを仮に修正したもので、「(←)」(修正された綴り字表記)←(誤用等と判断した原綴り字表記)」で示す要領である。英字見出し語形の末尾に①②のように付しているものは、『英語節用集』中に重複立項されたもので、先行掲出されたものを①としている。各語群リストにおける掲出順序は『英語節用集』内の出現順序に従っており、本編部門別に分類整理して並べている。
- 注4 表1は、以下のグループ区分で示す。明治14年刊『華英字典』は第二次英学書ブーム期Aとして分類し、明治15年～19年刊の資料を同B i、明治20年代の資料を同B iiとして便宜上配置した。
- 【(1)】第一次英学書ブーム期資料：『英和掌中字典』(明治6年刊)『附音挿図英和字彙』(明治6年刊)
- 【(2) A】第二次英学書ブーム期初期の中国系対訳辞書資料：『華英字典』(明治14年刊)。
- 【(2) B i】第二次英学書ブーム期のうち明治10年代半ばから後半にかけての国内対訳辞書資料：『英和字彙』2版(明治15年)『英和袖珍字彙』(明治17年刊)『学校用英和字典』(明治18年2月刊)『英和和英字典大全』(明治18年刊)『英和正辞典』(明治18年9月刊)『新撰初学英和辞書』(明治18年10月刊)『訂訳大全英和辞書』(明治18年10月刊)『新撰英和字典』(明治19年6月刊)
- 【(2) B ii】第二次英学書ブーム期のうち明治20年代の国内対訳辞書グループ資料：『英和字海』(明治20年1月刊)『英和小字彙』(明治20年5月刊)『插画訂訳英和对訳新辞林』(明治20年10月刊)『英和对訳中字典』(明治21年1月刊)『新訳英和字彙』(明治

21年3月刊)。

【(3)】明治20年代大型集成的対訳辞書資料：『漢英対照いろは辞典』(明治21年刊)『漢語英訳辞典』(明治22～25年刊)

【(4)】現代日用国語辞書資料：『岩波国語辞典第7版』(平成24年刊)。

注5 拙稿『『英語節用集』をめぐって』(『国語語彙史の研究25』所収)等参照。

注6 拙稿指摘については、注5同様。『英語節用集』緒言については次の下線部参照。

余カ此編ヲ艸スル固リ一朝ノ偶意ニ非ス 顧フニ講談演説ノ都鄙ノ間ニ行ハル、未タ現時ヨリ盛ナル者アラサルナリ 而テ之レカ弁士タル者必ス先ツ各種ノ学ニ通シ該羅余スコトナク其蘊籍スル所ヲ流ル、カ如キノ雄弁ヲ以テ演出スルハ固リ 講談演説ノ最上乘ニシテ余輩カ喙ヲ其間ニ容ル、ヲ得ヘキ所ニ非スト雖モ 彼寒村僻邑ニ在リテ書籍師友ニ乏シキ人ニ至テハ宗教ハ仏教耶蘇教等ノ四五種ニ止マルカ如ク哲学ハ弥留斯辺撤ノ二三子ニ限ルカ如キノ感ナキ能ハス 況ヤ学者応用ノ術語ノ如キハ之レヲ知ラサル人モ亦タ少ナカラサルヲ信ス 又該博万巻ノ書ヲ読ムノ人ト雖モ宗教哲学政党及ヒ之レニ関スル術語ノ衆多ナル一之レヲ暗記スルハ至難ノ事タリ 且ツ宗教哲学ノ術語ニシテ東西其名ヲ異ニシ其實ヲ同スルモノ、如キ亦頗ル多シ 因テ是等ノ諸名詞ヲ纂集シ 一ハ以テ寒村僻邑ノ諸子ノ為ニシ 一ハ以テ已達弁士ノ備忘ニ供セント欲シ 間々之ヲ輯録スト雖モ 余カ浅識ナル誤謬少ナカラスシテ大方ノ嗤笑ヲ取ランコトヲ畏レ未タ之レヲ世ニ公ニセス 頃日遠郷ノ諸友屢書ヲ寄セテ其出版ヲ慫(興+心)セラル、ヲ以テ 已ムヲ得ス之レカ校閲ヲナシ且ツ各国政体及ヒ宗教ノ統計ヲ付記シ以テ活字ニ付ス 若シ誤謬アラハ幸ニ教示ヲ賜ヘ他日之レヲ改正補刪スヘキ也 編者識

注7 注6に示す『英語節用集』緒言の波線部参照。

【参考文献類】

豊田 実 (1963)：『日本英学史の研究』新訂初版 千城書房

原口 裕 (1991)：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』第2章「単語集・会話集」

飛田良文 (2007)：『日本語学研究事典』(2007 明治書院)「英華・華英事典」項

森岡健二 (1969)：『近代語の成立 明治期語彙編』明治書院

屋名池誠 (1991)：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』第1章「綴字書・連筆書・横文字紹介書」

